



## 2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年2月3日  
上場取引所 東

上場会社名 イーグル工業株式会社  
 コード番号 6486 URL <https://www.ekkeagle.com/jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鶴 鉄二  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財経本部長 (氏名) 村田 良伸 TEL 03-3438-2291  
 四半期報告書提出予定日 2023年2月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	116,904	13.7	7,512	43.3	9,965	47.8	6,070	104.0
2022年3月期第3四半期	102,809	8.9	5,240	59.4	6,741	45.3	2,976	46.3

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 10,887百万円 (74.4%) 2022年3月期第3四半期 6,242百万円 (1.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	124.57	—
2022年3月期第3四半期	60.61	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第3四半期	185,838	108,466	53.9	2,077.11
2022年3月期	180,955	103,094	52.1	1,920.35

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 100,242百万円 2022年3月期 94,333百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2023年3月期	—	25.00	—		
2023年3月期(予想)				25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	157,000	11.5	8,400	11.1	12,000	11.0	6,800	19.0	139.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	49,757,821株	2022年3月期	49,757,821株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	1,497,114株	2022年3月期	634,564株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	48,735,328株	2022年3月期3Q	49,110,383株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により変動する可能性があります。業績予想に関する事項は、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(会計方針の変更) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の当社グループを取り巻く環境は、ウィズコロナ経済対策へのシフトによる景気拡大が期待されましたが、依然として半導体等産業用資材の不足、ウクライナ危機の長期化に伴うエネルギー資源の高騰等が、サプライチェーンにマイナスの影響を与えました。加えて世界的なインフレ圧力とそれに伴う金融引き締め政策等が景気の減退要因となり、先行き不透明な状態が継続しております。

このような事業環境のもと、当社事業においては、部品調達難の影響を大きく受けた自動車・建設機械業界向け事業を除き堅調に推移し、増収増益となりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,169億4百万円（前年同期比13.7%増）、営業利益は75億12百万円（前年同期比43.3%増）、経常利益は99億65百万円（前年同期比47.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は60億70百万円（前年同期比104.0%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

#### [自動車・建設機械業界向け事業]

当事業は、世界的な半導体不足の継続、中国主要都市でのロックダウン等の影響を受ける一方、円安による押し上げ効果により、当セグメントの売上高は639億12百万円（前年同期比6.7%増）となりましたが、原材料価格の高騰、電力料の値上げなどが相俟って、営業利益は10億50百万円（前年同期比31.3%減）となりました。

#### [一般産業機械業界向け事業]

当事業は、海外における顧客操業の回復により、当セグメントの売上高は249億67百万円（前年同期比18.0%増）、営業利益は28億23百万円（前年同期比68.0%増）となりました。

#### [半導体業界向け事業]

当事業は、半導体業界の好調継続と新規拡販により、当セグメントの売上高は123億99百万円（前年同期比40.3%増）、営業利益は12億15百万円（前年同期比124.8%増）となりました。

#### [船用業界向け事業]

当事業は、中国・韓国向け新造船市況好調継続と、欧州での修繕部品需要が増加したことにより、当セグメントの売上高は99億40百万円（前年同期比18.6%増）、営業利益は22億1百万円（前年同期比34.8%増）となりました。

#### [航空宇宙業界向け事業]

当事業は、航空機向け、宇宙関連向けともに販売増により、当セグメントの売上高は56億84百万円（前年同期比25.2%増）、営業利益は2億17百万円（前年同期は営業損失1億51百万円）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### [資産]

当第3四半期連結会計期間末の資産は1,858億38百万円となり、前連結会計年度末に比べ48億82百万円増加しました。これは主として現金及び預金が22億87百万円減少した一方、棚卸資産が44億71百万円、投資有価証券が19億71百万円増加したことによるものであります。

#### [負債]

当第3四半期連結会計期間末の負債は773億71百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億89百万円減少しました。これは主として長・短借入金が13億11百万円増加した一方、流動負債の引当金が7億77百万円、その他の流動負債が5億86百万円、退職給付に係る負債が3億11百万円減少したことによるものであります。

#### [純資産]

当第3四半期連結会計期間末の純資産は1,084億66百万円となり、前連結会計年度末に比べ53億71百万円増加しました。これは主として剰余金の配当により24億56百万円減少した一方、親会社株主に帰属する四半期純利益を60億70百万円計上したこと及び為替換算調整勘定が23億25百万円増加したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、2022年11月10日の「2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表しました連結業績予想を下記のとおり修正いたします。

主に自動車・建設機械業界向け事業において、世界的な半導体不足や中国での新型コロナウイルス感染再拡大等による部品調達難により、販売・利益ともに前回予想を下回る見通しです。一方、他の事業は概ね堅調に推移しており、一般産業機械業界向け事業等で利益増となる見通しです。

2023年3月期通期連結業績予想数値の修正 (2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 163,300	百万円 9,000	百万円 12,600	百万円 7,200	円 銭 148.09
今回修正予想 (B)	157,000	8,400	12,000	6,800	139.87
増減額 (B - A)	△6,300	△600	△600	△400	—
増減率 (%)	△3.9	△6.7	△4.8	△5.6	—
(ご参考) 前期実績 (2022年3月期)	140,842	7,560	10,811	5,713	116.34

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	28,806	26,518
受取手形、売掛金及び契約資産	30,207	29,933
電子記録債権	5,248	5,796
商品及び製品	10,169	11,204
仕掛品	6,910	8,061
原材料及び貯蔵品	10,477	12,761
その他	6,600	6,593
貸倒引当金	△96	△104
流動資産合計	98,323	100,766
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	22,532	24,328
機械装置及び運搬具（純額）	21,972	21,298
その他（純額）	14,534	13,981
有形固定資産合計	59,039	59,609
無形固定資産		
のれん	1,266	934
その他	1,842	1,889
無形固定資産合計	3,108	2,823
投資その他の資産		
投資有価証券	12,785	14,757
その他	7,806	7,997
貸倒引当金	△108	△116
投資その他の資産合計	20,483	22,638
固定資産合計	82,631	85,071
資産合計	180,955	185,838

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	9,180	8,974
電子記録債務	2,512	2,483
短期借入金	13,022	15,626
未払法人税等	1,534	1,439
賞与引当金	2,679	2,114
その他の引当金	770	558
その他	12,985	12,399
流動負債合計	42,686	43,596
固定負債		
長期借入金	17,732	16,439
引当金	316	446
退職給付に係る負債	15,412	15,100
その他	1,713	1,788
固定負債合計	35,174	33,775
負債合計	77,860	77,371
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,490	10,490
資本剰余金	11,296	11,296
利益剰余金	71,483	75,098
自己株式	△213	△1,201
株主資本合計	93,057	95,684
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	458	541
為替換算調整勘定	2,950	5,276
退職給付に係る調整累計額	△2,133	△1,259
その他の包括利益累計額合計	1,275	4,558
非支配株主持分	8,761	8,223
純資産合計	103,094	108,466
負債純資産合計	180,955	185,838

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	102,809	116,904
売上原価	79,420	88,473
売上総利益	23,388	28,430
販売費及び一般管理費	18,148	20,918
営業利益	5,240	7,512
営業外収益		
受取利息	161	269
受取配当金	19	22
持分法による投資利益	768	1,158
為替差益	353	600
その他	616	769
営業外収益合計	1,920	2,819
営業外費用		
支払利息	289	314
その他	129	51
営業外費用合計	419	366
経常利益	6,741	9,965
特別利益		
固定資産売却益	7	40
投資有価証券売却益	11	96
特別利益合計	18	137
特別損失		
固定資産売却損	18	10
固定資産除却損	60	35
減損損失	1,088	94
特別損失合計	1,167	140
税金等調整前四半期純利益	5,591	9,962
法人税等	1,616	2,464
四半期純利益	3,974	7,498
非支配株主に帰属する四半期純利益	998	1,427
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,976	6,070

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	3,974	7,498
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	88	105
為替換算調整勘定	1,454	1,777
退職給付に係る調整額	427	416
持分法適用会社に対する持分相当額	297	1,089
その他の包括利益合計	2,267	3,389
四半期包括利益	6,242	10,887
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,122	9,353
非支配株主に係る四半期包括利益	1,120	1,534

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。）を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	自動車・ 建設機械業 界向け事業	一般産業 機械業界 向け事業	半導体 業界向け 事業	船用業界 向け事業	航空宇宙 業界向け 事業	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高								
外部顧客への売上高	59,878	21,166	8,840	8,382	4,542	102,809	—	102,809
セグメント間の内部売上高 又は振替高	91	91	—	0	—	183	△183	—
計	59,969	21,258	8,840	8,382	4,542	102,993	△183	102,809
セグメント利益又は損失(△)	1,530	1,680	540	1,633	△151	5,234	6	5,240

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額6百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	自動車・ 建設機械業 界向け事業	一般産業 機械業界 向け事業	半導体 業界向け 事業	船用業界 向け事業	航空宇宙 業界向け 事業	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高								
外部顧客への売上高	63,912	24,967	12,399	9,940	5,684	116,904	—	116,904
セグメント間の内部売上高 又は振替高	130	110	—	5	—	246	△246	—
計	64,042	25,077	12,399	9,945	5,684	117,150	△246	116,904
セグメント利益	1,050	2,823	1,215	2,201	217	7,508	3	7,512

(注) 1. セグメント利益の調整額3百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。